

## 常磐っ子の家庭学習について～『習慣化』と『計画力』を大切にする～

- ・学校経営の方針と重点から・・・これからの社会を生き抜く力を育てること
  - ① 自分と相手の生命尊厳理解につなぐ学習（相手を思う）
  - ② 個別最適な学び、協働的な学び（自分から）
  - ③ 主体的対話的で深い学び（自分から）
- ・わかったこととわからなかったことを言葉にする。
- ・確かな根拠を求める。
- ・粘り強くやり抜く。→（情報を使いこなす力・あきらめずに続ける力）

を大切にしたいと考えています。

### 各学年の家庭学習について

- ・家庭学習の習慣づけを大切にします。
  - ・ドリル学習（漢字、算数）は回数にこだわらず、できるようにすることを大事にします。
  - ・答え合わせをして、直しをしっかりとるようにします。
  - ・分からないところをできるようにすることを大事にします。
  - ・自分に必要な学習を自分で選んで行うことを大事にします。（みがき学習）
- ☆3年生の後期から始めます。

もちろん、1年生から進んで行うことができる人は、どんどん取り組んでみましょう。

- ・音読は全学年毎日続けます。（読む力につながるからです。）
- ・1・2・3年生は、漢字ドリル・計算ドリル（算数の練習）の1回目は指定をして、家庭学習の仕方を定着させます。  
☆1・2・3年生（前期）は、答え合わせをしていただけると、ありがたいです。その場で間違いを正せるからです。正解していれば自信になるからです。ご協力をお願いします。
- ・4年生は、前期は指定、後期は期限を決めて、各自進める形に移行していきます。
- ・5年生は、週単位で学習計画を立てる。（漢字ドリル、算数の練習）＋みがき学習
- ・6年生は、月単位（単元）で学習計画を立てる。（漢字ドリル、算数の練習）＋みがき学習
- ・日記は、書く力、考える力、想像力がつくと考えていますので、定期的に出します。（学年に合わせて）

以下のような取り組み方のレベルを意識して、進めていけるようにします。

ときわっ子の家庭学習 ～自律的学びを目指して～

初級 低学年	・宿題に自分から取り組む。 ・答え合わせをしてもらい、間違いを直したり練習したりする。
中級 中学年	・宿題に自分から取り組む。 ・自分で答え合わせをしてからわかるまで間違い直しをしたりできるまで練習したりする。
上級 高学年	・期限までの宿題に自分から取り組む。 ・興味のある学習にさらに取り組む。
達人 高学年	・自分で課題を作って自分で計画を立てて分からないところが分かるまで取り組む。